

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジエット闘争勝利！

動労の革マル党づくり強要を許さず

8・8集会の
成功にむけて
シリーズ8

- ① 動労の革マル党づくり強要を許さず
 - ② 動労のファシスト化狙う
 - ③ 「八三年組織的課題」路線
 - ④ 全民労協発足で日本労働運動は終焉し、総評
 - ⑤ 動労は革マル・イデオロギーの物質化による
- 「反ファシズム統一戦線の形成」を唱えてゆく。
(革マルの「反ファシズム」とはテロ、謀略デ
マ、警察・革マル連合で動労千葉や三里塚闘争
を襲撃し、破壊するファシスト労働運動のこと
である)。

全組合員のみなさん。8・8集会は、いよいよ明後日に迫りました。動労千葉の組織をあげてたたかいぬいてきた三里塚・ジエット闘争は、8・8ペイブライン供用開始をもつていまひとつ決定的飛躍が求められる段階に突入しています。権力・当局の凶暴な弾圧・処分攻撃とのたたかい、特に動労「本部」革マル一掃のたたかは三里塚闘争の勝利をかちとり国鉄決戦の爆発をきりひらいでいくうえで決定的に重要な課題となっています。

「確信をもつて闘争を破壊せよ」

動労のファシスト化狙う

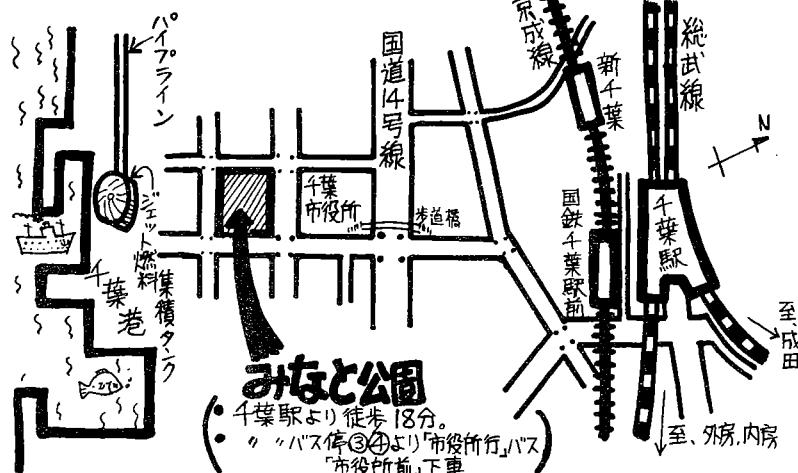
「八三年組織的課題」路線

動労革マルは、国鉄労働運動破壊の先兵化にみられるよう、あまりにも反労働者性のゆえにすさまじい組織的・路線的危機をむかえています。そして動労革マルは、その危機のりきりを一層露骨な動労のファシスト支配にもとめています。去る二月の動労「本部」東・西全国支部長会議で提起し、今第三九回全国大会で決定しようとしている「八三年われわれの組織的課題」なるものは、次のような内容の主張をしています。

① 昨年国労を「働く運動」にとりこもうとしたが失敗し、動労・国労共闘にキレツが入ってしまった。

② それは今日の情勢認識の一一致が不十分だからだ。現在は一九三八年の産報化時と全く同じで「厳寒の時代」だから完全に闘争は放棄しなければならない。「たたかう動労」というイメージ、動労はたたかうと把握されでは困る。粉碎しなければならない。

③ 全民労協発足で日本労働運動は終焉し、総評労働運動は崩壊してしまったのに、まだ国労や動労千葉は「57・11」や入浴闘争を闘うといっているのは許せない。動労は社会党解体、反社民（総評・国労の破壊・解体）、反赤色労働組合主義＝反共主義の路線でいく。



パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廢港

8・8総決起集会

★8月8日(月)
午前10時
★千葉
みなど公園
★作業服上下
主催
空港反対同盟
動労千葉

三里塚闘争への大決起が
いつさいの勝利をきりひらく

全ての組合員のみなさん。このようなファシスト方針は絶対に粉碎しなければなりません。

動労千葉が革マルを粉碎して勝利した、七九年「本部」との分離独立決戦、ジエット燃料輸送阻止スト（80・10～11）、81・3大ストライキなどの数々のたたかいを教訓に動労「本部」革マル追放一掃・動労大改革をたたかぬこう。

三里塚闘争は、戦争、大増税、大合理化など全反動攻撃をうち破り勝利するたたかいです。8・8に総決起し、10・9の大爆発へと発展させていこう。

83.8.6
No. 1410
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

日刊
動労千葉

8/8/10 寿みなど公園に全行結集しよう

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！